天保七年

知恵之事

申四月十日

稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書資料番号 2

米麦ゟ之事

一、田畑ゟ麦之壱斗

五升四ツ、米壱斗弐升、外ニ米壱俵

籾七斗ニ付米壱俵ゟ

米九升四ツ、麦八斗七升四ツ

八月ニ八日ニ田ニ麦ばかり米百姓ニ

之ばかり麦八九升くらゝ

稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書　資料番号　2

皆難儀いたしまする
麦作ハ米百五十匁位ニなり麦も
百目ニなり麦作ニハ米百四十目ニなり
又下さんにハ百五十目までにもなり麦
八拾目ねだんちう下ねだんニハ百卅目まで
なりやんかましき高正月ニあがる
正月十四日まで上がり壱石米ハ
百七十目ニなり麦ハ百五十目位ニ

なり正月末ねだんニハ百四十目ニなり
麦ハ百十目なり二月ニハ八拾目より
米百八十目ニなり麦ハ八百五十目位ニ
なり三月中ねだんちう米百五十匁位ニなる
麦百五十目位なり三月下ねだんハ
米百四十目ニなり白麦百七十目
なり十月前三月みな大坂大市いた ころまだ
いたし中ゟゆるみそのかつ陰暦ニ下おき

稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書 資料番号 2

稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書　資料番号　2

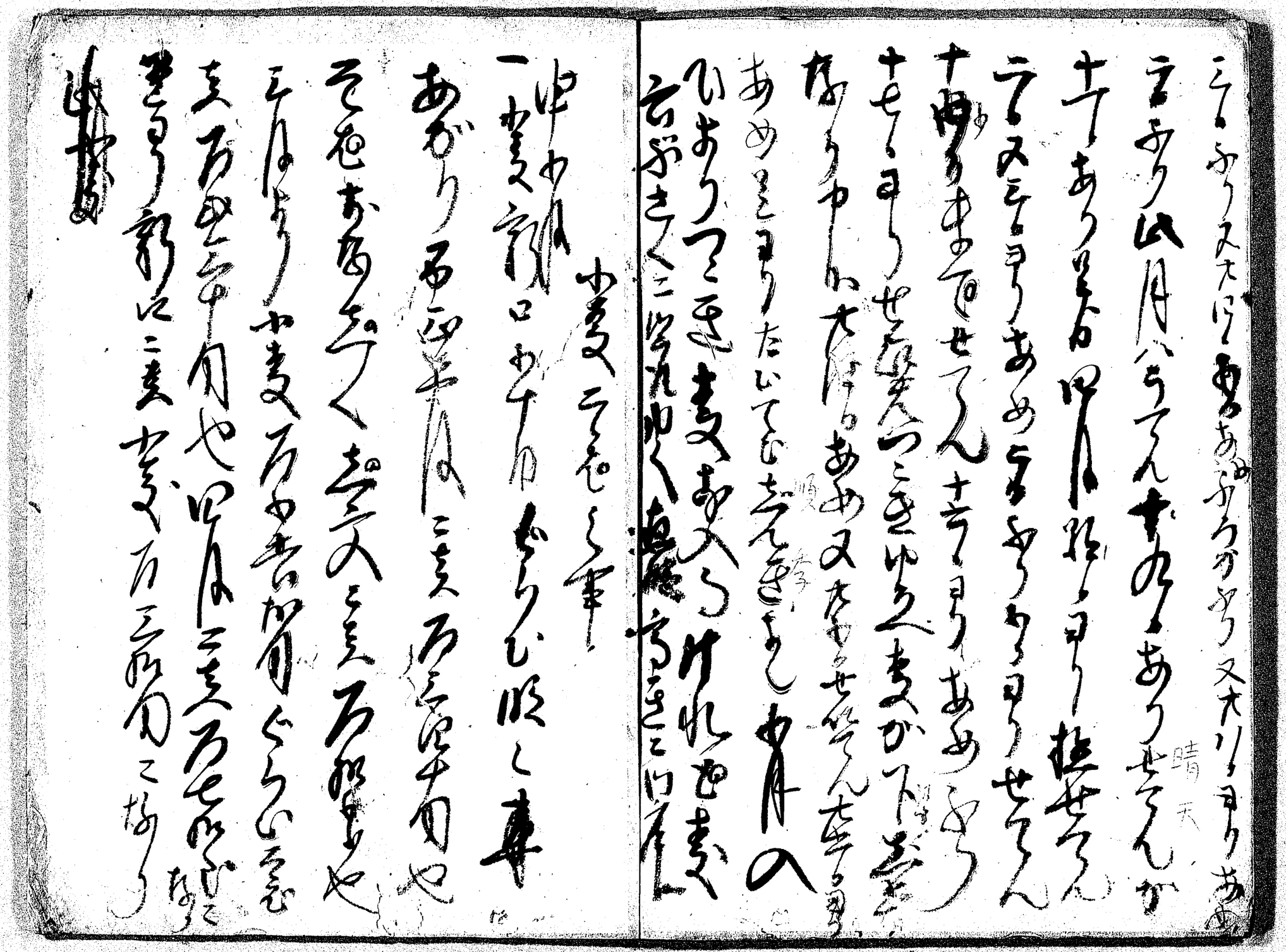
内弐斗壱升九合八勺米石高ニ付 又麦
八石三斗壱升五合ニ付弐石六斗八升取立可被遣
十五石七斗弐升六合米九斗壱升五合ニ付麦六斗五升
石三斗弐升五合又十五石七斗弐升七合五勺まて米八斗
ぐらひ三斗五升但麦八斗又石三斗五升迄
此麦ハ右高ニ付 銭五貫文 取立下され
此分ハ麦八十取立下され候
一 二石三斗五升五合八勺米石高ニ付 壱斗七升三合
一 此麦ハ麦八文取立下されさる儀

一 新麦御取立之儀ハ其年麦作之出来ニより
一 麦八斗ゟ六七斗位迄取立其年ニより八斗余
八斗取申候 凡取申候 米ニも
石ニ付五斗取 ぐらひ 八分 但
新米石ニ付石取 納 文
ちらし
米八石三斗取 麦八石

稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書　資料番号　2

天保七
一申年

稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書　資料番号　2



稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書　資料番号　2

中年綿桐之事

一昨年十二月大風ありあめ中き
本のまつ中りまた桐直根之儀も
新にうえ付之分ハ多時之
あがり以上ハ也し四五年本の通
あがり拾年ハ四五年下
ちゃき有や桐ハ二年之内くらい
時と下ぶとあり二年
あがり又ハ四年ハ

中年大豆之事

一新にうえ付大豆根
七年ものくらい土地ハ肥ハ有ハ
四五年ハ二ハ有ハ
まで有ハ

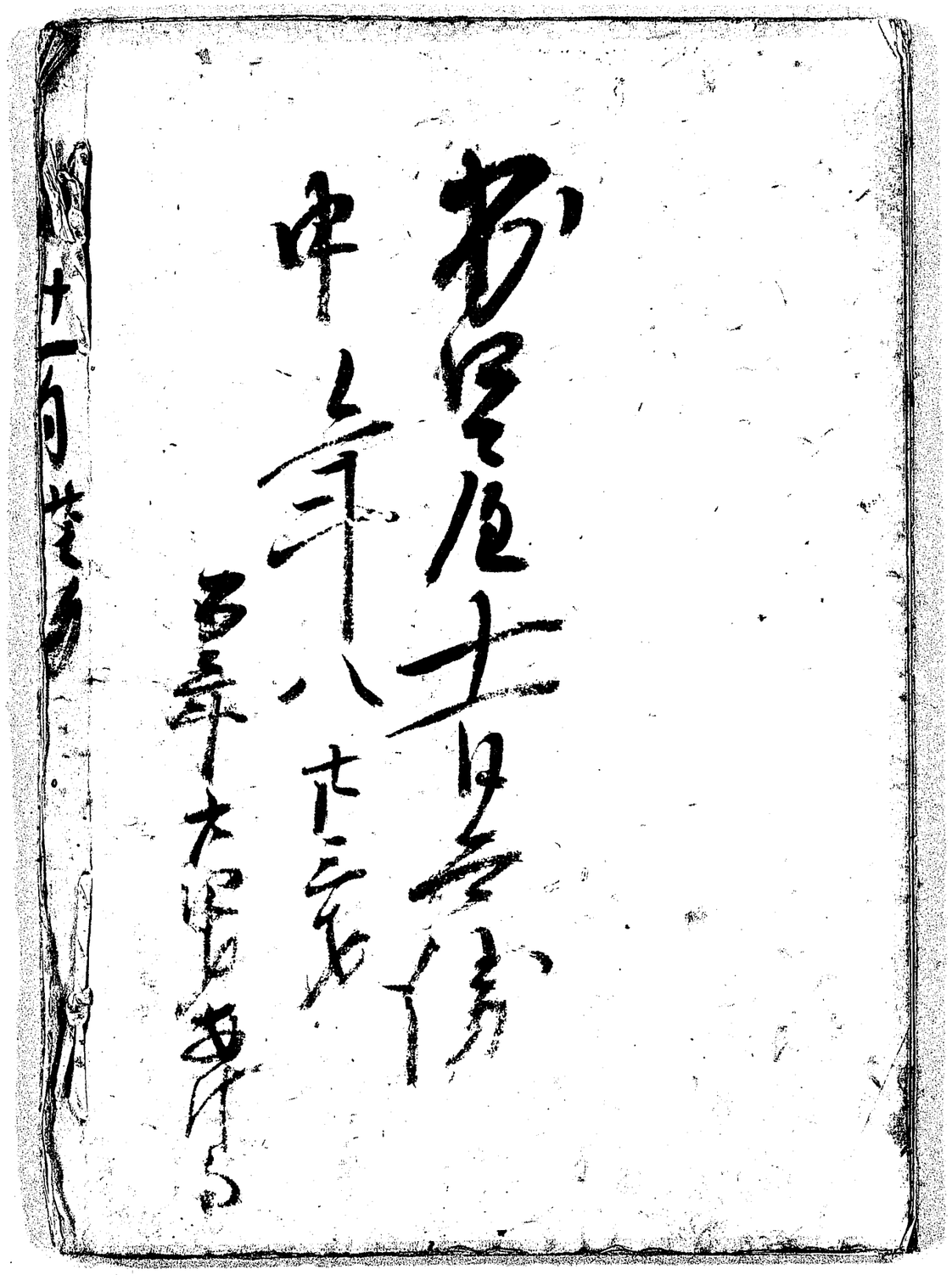
中年老之事

一 郭に上壽五拾歳より十三歳ニハ
服之貞歳七あからむ頃より二十歳ニ移る
五十歳より二十歳にハ下壽へ移るに込
移り二十歳ニハ上壽足り移り行て壽
ニおゐても中年より下の年輩に成る
乎り老之事を合て頁にて年より
廣湯ニまかせたる二行て年

老年之事

一 壽ニハ百歳より壽八十歳まで
六十白て移り移りて朔日にて
日来移りて五十歳こなり

人ハ壱年もかならず一ヶ年
がら世を移る事の きぼ去のひ参し
新業弟子ハおこたる



稲むらの火の館所蔵　渋谷家文書 資料番号 2